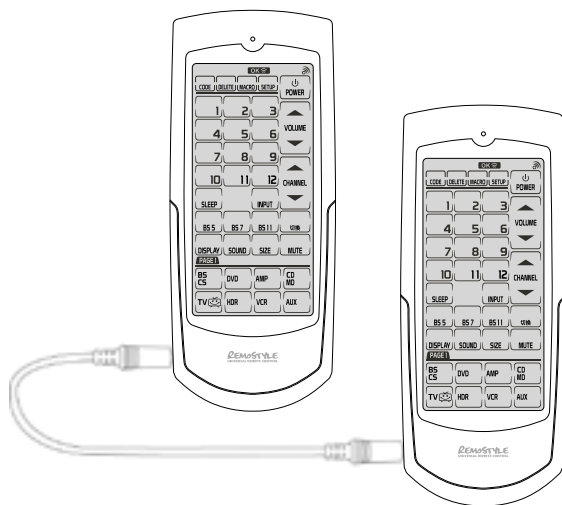


## クローンの作成

### クローン作成(別の『リモスタイル』にデータを送信する)

『リモスタイル』は、別の『リモスタイル』にオプション接続ケーブルを使用して、ユーザーが設定・学習したキーコードのデータすべてを転送することができます。つまり、まったく同じ学習内容(クローン)の『リモスタイル』を簡単に作成できます。







- ※クローンケーブルの両端を差し込み口にしっかりと奥まで差し込んでください。いずれかの差し込みが浅い場合、学習したデータが消失する可能性があります。
- ※クローン作成の前に、必ずクローン元とクローン先のリモコンとも、電池を新品に交換してください。特にローバッテリー表示がされていない場合でも、電圧が下がっているためにエラーが表示されたり、クローン作成ができない場合があります。
- ※まれにクローン作成ができない場合があります。その際は、『リモスタイル(ARS-3000)』の取扱説明書(→P.19)をご覧ください。コピー先のリモスタイルを一度初期化してから再度クローン作成を行ってください。
- ※上記すべてをおこなっても、どうしてもクローン作成ができない場合があります。その際は大変お手数ですが、クローン元も一度初期化してから、改めて学習を直してクローン作成をおこなってください。(ごくまれに学習した信号が壊れていてクローン作成できない場合があります)



データを転送するには、操作する前に2台のリモコンを、上記接続図のように別売リオプションの接続ケーブルにて接続します。


『リモスタイル(ARS-3000)』は、他機種へのデータ送信はサポートしていません。

### 実際にデータを転送しクローンを作成する


- ① クローン元となる『リモスタイル』のシステム設定キー  を3秒間長押しして確認画面にします。
- ② 4つの数字キーを押し消去すると、液晶画面の上部に **ライト** が表示されます。
- ③  か  を押して **CODE** を表示します。
- ④  を押してデータ転送を開始します。

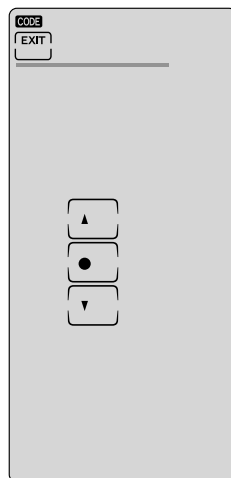


データの転送には、学習の記憶容量により、数十秒から数分間かかります。

データ転送が無事に終了すると、**OK**  が液晶画面上部に表示され、**ピーブ音が1回**します。

もし、データの送信におけるエラーがある場合、**エラー** が表示されます。

- ⑤  を押して、クローン作成モードを終了します。



上記の操作は、必ず“クローン元となる『リモスタイル』”でおこなってください。